

今年度の重点課題

令和4年度 砺波高校アクションプラン -1-	
重点項目	ア 学習活動 教科指導
重点課題	授業を中心とした学力の養成と自己学習の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予習復習やテストの見直しを行う生徒の割合が下がっている。授業に対して主体的に取り組む、深く考えを働かせる生徒の割合も伸び悩んでおり、引き続き授業改善に努めながら、生徒の授業に対する満足度を高める工夫が必要となっている。</li> <li>○授業力向上のため、互見授業を実施し、日々の授業改善に取り組むとともに、研修会等に積極的に参加して、新しい指導法を吸収し授業に反映させている。</li> <li>○教育クラウドサービスと、生徒と教員に1台ずつ配備されているタブレットPCを利活用して、生徒の思考力・創造力を伸ばす効果的な方法を見いだす必要がある。</li> </ul>
達成目標	①家庭学習習慣のアンケート調査 a) 1、2年生の「予習復習やテストの見直しをしっかりと行っている」と答える生徒 b) 1、2年生の「授業に満足している」と答える生徒
	②教師の授業力向上 a) 互見授業に参加した回数を1人3回以上とする。 b) 授業でICT機器を効果的に活用する。または、協働力、発信力を高めるための学び合い活動を行う。 a) 達成率75%以上 b) 達成率75%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的かつ協働的な学習活動を授業に取り入れ、予習復習に自主的に取り組む習慣を定着させる。</li> <li>○学習実態調査、面接を継続し、生徒の生活実態や学習意識の変化を把握する。</li> <li>○指導と評価を一体化しながら、思考力を高める、発信力を高める、創造力を高める生徒の集団づくりを進める。</li> <li>○教科部会、互見授業、授業研修会などを通じて指導力を高めるよう努力する。</li> </ul>

令和4年度 砺波高校アクションプラン -2-	
重点項目	イ 学校生活 生活指導（心身の健康指導を含む）
重点課題	学校生活における基本的な生活習慣の涵養と健康増進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>①規律ある生活態度として「挨拶の励行」「服装、頭髪の整備」「時間厳守」「公共でのマナー遵守」「携帯電話の適切な使用」を挙げている。今年度は特に「社会的なルール・マナーを守る気持ちを持つ（意思表示）」即ち、ルール・マナーを守り実践することに主眼を置きたい。</li> <li>②保健室への来室理由は、頭痛や吐き気を伴う体調不良が多く、その原因は睡眠不足である生徒が大半を占めている。体調不良を訴えるほどではないが、多くの生徒が日常的に睡眠不足を感じている。健康診断の結果、治療カードを受け取ってもすぐに医療機関を受診しない生徒が多く、その割合は特に眼科が多い。</li> </ul>
達成目標	①社会的なルール・マナーを守り実践する ②健康診断の結果、治療の必要がない生徒及び医療機関を受診、完治した（治療カードを提出した）生徒の割合
	98%以上 75%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「社会的なルール・マナー」についてのアンケートを実施して理解度を高める。また、実践する生徒を増やす方策として、生徒が作り宣言したルールを守る形として生徒の自主性に任せる。</li> <li>○生徒や保護者に対して文書で早期受診を促すとともに、保健だよりや掲示物などによる啓蒙活動を推進する。</li> <li>○保健講話や個別の健康相談を充実させるとともに、生徒保健委員会の活動を通して、生徒が主体的により良い生活リズムや睡眠の習慣を身に付けられるよう働きかける。</li> </ul>

令和4年度 砺波高校アクションプラン -3-	
重点項目	ウ 進路支援 進路指導
重点課題	進路目標の実現に向けて、進路意識の高揚と目標設定の早期化
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路意識が希薄で、自分の能力や適性を把握できないため、目標設定が遅れる生徒がいる。</li> <li>○進路目標はあるが、意識の深まりや学習意欲につながらず、学力が不十分な生徒がいる。</li> </ul>
達成目標	①年間をとおして生徒1人あたりの面接指導の実施回数 <span style="float: right;">②3年1学期までに、進路目標を明確にした生徒の割合</span>
	1、2年生： 6回以上 3年生： 10回以上 <span style="float: right;">80%以上</span>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が進路意識を深め、自己を見つめる面接の指導を工夫する。</li> <li>○総合的な探究の時間、ホームルーム活動などを利用して進路研究を行い、進路意識を高める。</li> <li>○社会人や大学生による講話を充実させる。またオープンキャンパスへの参加を積極的に勧めることなどにより進路目標の早期設定につなげる。</li> </ul>

令和4年度 砺波高校アクションプラン -4-	
重点項目	エ 特別活動 特別活動・図書委員会活動の活発化
重点課題	生徒の主体的な活動の充実・図書館利用の推進
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事では生徒会が中心となって運営し、クラスや部活動単位で協力し合っ てまじめに取り組む生徒が多い。本校生徒としての自覚や連帯感が高いが、やや消 極的で主体性に欠ける生徒も見られる。</li> <li>○ほとんどの生徒が部活動に所属して主体的に活動に取り組んでいるが、学習との 両立に悩み、達成感を得られていない生徒もいる。また部員数の減少により充実 した活動を維持することが難しい部がある。</li> <li>○昨年度実施した読書会は一般生徒の参加を目標としていたが、実際は図書委員だ けの参加による会で終わってしまった。読書を通して得た自分の考えを言語化 し、わかりやすく伝えることに関心が低い。</li> </ul>
達成目標	①学校行事において主体的に参加、協 力した生徒の割合 <span style="float: right;">③図書委員会の活動に参加、協力した生徒 の割合</span>
	全学年75%以上 <span style="float: right;">全学年70%以上</span>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事ごとにアンケートを実施してTGP(Tonami Graduation Policy)の身に付けた い力を生徒に意識させ、主体的、協力的な参加意識を高める。</li> <li>○限られた時間の中で主体的かつ効率的な部活動運営を工夫する。アンケート結果 により生徒の満足度や取組状況等を把握して、今後の運営や指導に役立てる。</li> <li>○教養講座、読書会、ビブリオバトルなどをとおして、知ることや議論することの楽 しさを味わう機会を工夫する。アンケートを実施して生徒の参加・協力状況等を 把握し、今後の運営や指導に役立てる。</li> <li>○授業や課題研究、小論文対策などに必要な本をそろえ、展示を工夫して生徒が主 体的に読書活動を行える環境を整える。</li> </ul>

令和4年度 砺波高校アクションプラン -5-

重点項目	オ その他 保護者、地域、同窓会との連携	
重点課題	保護者や地域、同窓会との連携・協力の推進および広報活動の充実	
現 状	<p>○保護者の学校行事やP T A行事への参加率は高い。</p> <p>○授業や生徒会活動、部活動等、多様な活動を通して、地域の方との交流や学習する機会を設けている。</p>	
達成目標	①保護者がP T A総会やP T A研修会に参加する割合 (保護者会を除く)	②授業や特別活動で地域の方々と交流した生徒の延べ数が全校生徒に占める割合
	80%以上	50%以上
方 策	<p>○P T A行事や学校行事は早めに知らせ、できるだけ保護者が参加しやすいよう配慮する。</p> <p>○社会状況を考慮しながら、授業や特別活動で生徒が地域調査に出かけたり施設訪問をしたり、地域の人に来校していただく機会を意図的に設ける。</p> <p>○学校ホームページや同窓会ホームページを適時更新し、本校の教育活動の広報に努める。</p>	